



「郷土を愛し、確かな学力を身につけ、未来を切り拓こうとする子どもの育成」

- ① 一人ひとりが主体性をもち、学び合い高め合う生徒の育成
- ② 自他を尊重し、仲間と共に粘り強く取り組む生徒の育成

「なかまのことを考え、支え合う集団をめざし行動する生徒の育成」→「考動」



「詩上最響(しじょうさいきょう)」というスローガンを掲げ(考案・提案・横断幕作成は全て生徒会役員による)、合唱コンクール実行委員会を中心に各学級団結して取り組んできましたが、練習時間は音楽の授業以外は、帰りに10分程度。パートに分かれて、「もっと、こうしよう! あ~しよう!」と互いに意見を出し合いながら、日々練習に取り組んできた生徒たち。「緊張感、いい意味でのあせりをもって真剣に取り組もう!」と全体に向かって、必死で訴えかけていた実行委員長。限られた時間の全体練習や学年練習も、各リーダーを中心に、生徒が主体的に行動している姿が常にありました。自分達が選んだ曲の作詞・作曲者の思いを理解して、思いを込めて歌えるように、実行委員が持参した動画を視聴するなどの工夫を凝らしながら合唱を創っていったクラスもあったようです。まさに、「なかまのことを考え、支え合う集団」が南中学校に育まれています。「感動」の嵐を巻き起こした南中生徒を心から誇りに思います。 I'm really proud of you!!

これからも、先輩方が築いてくれたよき伝統を受け継ぎ、さらに発展させ、支え合い、高め合う仲間づくりをめざして「考動」していきましょう。

合唱コンクール実行委員長										
(文化専門委員長)			パートリーダー				指揮者		ピアノ伴奏	
実行委員			ソプラノ	アルト	男声		(校歌)	(全校)		
1の1										
1の2										
2の1										
2の2										
2の3										
3の1										
3の2										

